

交付運用報告書

スーパーファンド・ジャパン サブファンド・レインボー・オールシーズンズ

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て）

作成対象期間（第17期）：自 2025年1月1日 至 2025年12月31日

～ 受益者の皆様へ ～

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当サブファンドは、オーストリア・ウィーンにて創立されたスーパーファンドグループの、外国籍公募投資信託です。

ケイマン諸島における分別ポートフォリオを運用する適用免除有限責任会社として登録され、投資会社としてのみ活動するマスターファンドへの投資を通じて、証券市場の動静から独立した投資形態を投資家の皆様に提供するために設立されました。スーパーファンドの投資顧問会社であるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インクによる、トレーディング・ソフトウェアを使用した最新の取引システムに基づき、マスターファンドは運用されます。

ここに、当サブファンドの第17期の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	第17期末	
	円・クラス	ゴールド円・クラス
1口当たり純資産価額	48.54円	200.80円
純資産総額	55百万円	1,000百万円
	第17期	
	円・クラス	ゴールド円・クラス
騰落率	+46.47%	+90.46%
1口当たり分配金額	0円	0円

（注1）純資産総額は、1口当たり純資産価額に、当期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書（全体版）に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

（注2）騰落率は、税引前の分配金（もしあれば）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

（注3）1口当たり分配金額（もしあれば）は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

その他記載事項

運用報告書（全体版）は代行協会のウェブサイト（<https://www.superfund.co.jp>）にて電磁的方法により提供しており、「ドキュメント」において閲覧及びダウンロードすることができます。

※ 当サブファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【管理会社】

スーパーファンド・ジャパン・
トレーディング（ケイマン）リミテッド

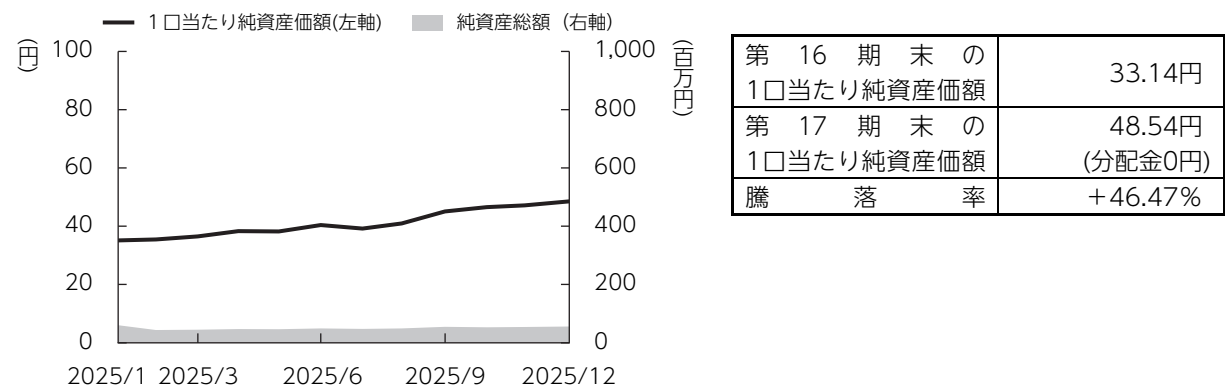
【代行協会員】

スーパーファンド・ジャパン株式会社

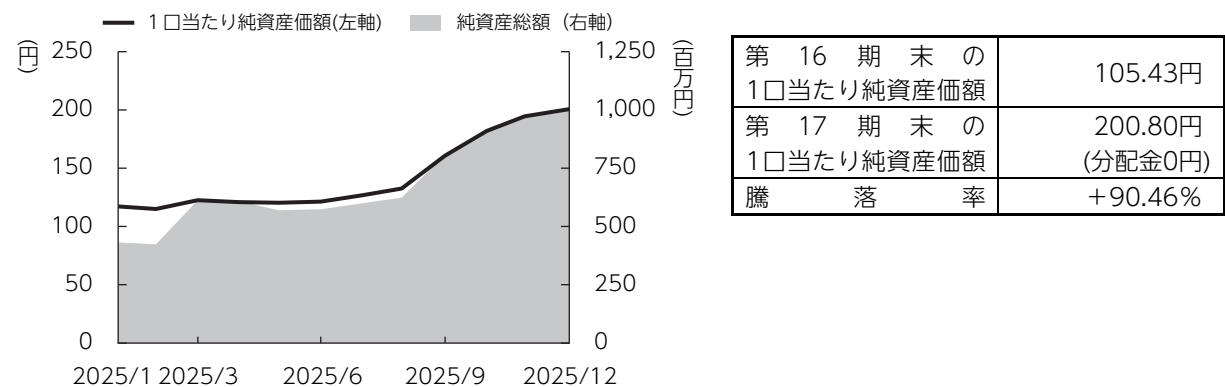
運用経過

■ 当期の1口当たり純資産価額等の推移について (2025年1月1日～2025年12月31日)

円・クラス



ゴールド円・クラス



(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
(注2) 騰落率は、第16期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。
(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

■ 1 □当たり純資産価額の主な変動要因

【円・クラス】

サブファンド・レインボー・オールシーズンズは、シャープパリティ戦略を採用しています。シャープパリティ戦略では、リスク・リターンレシオが最大となる市場セグメントをポートフォリオ内で重くウェイト付けします。

スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより、株式、債券、商品市場等を投資対象として、ロングポジションのみでバランス投資を行い運用されます。よって、それら各市場の価格変動は、ファンドの純資産価額の変動に影響します。

【ゴールド円・クラス】

サブファンド・レインボー・オールシーズンズは、シャープパリティ戦略を採用しています。シャープパリティ戦略では、リスク・リターンレシオが最大となる市場セグメントをポートフォリオ内で重くウェイト付けします。

スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより、株式、債券、商品市場等を投資対象として、ロングポジションのみでバランス投資を行い運用されます。よって、それら各市場の価格変動は、ファンドの純資産価額の変動に影響します。加えて、金価格に連動するようヘッジを行うため、金価格の上昇はキャピタルゲインの、金価格の下落はキャピタルロスの要因となります。

■ 費用の明細 (2025年1月1日～2025年12月31日)

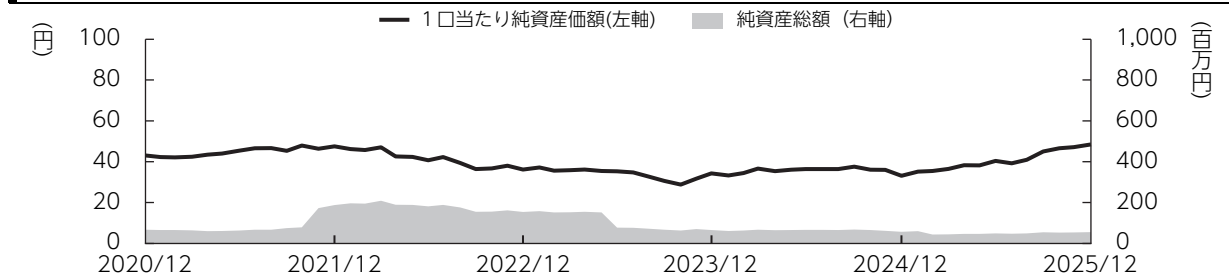
項 目		比率又は金額	項 目 の 概 要
管 理 報 酬		当サブファンドの純資産価額の年率0.10%	受託会社、事務管理会社及びカस्टディアンその他の者との間のやりとり、当サブファンドの活動に関連する契約の管理、申込及び償還を含む投資活動の運用管理の対価
代 行 協 会 員 報 酬		当サブファンドの純資産価額の年率0.10%	日本の法令及び日本証券業協会の規則に従い、受益者への目論見書や財務書類を送付し、純資産価額を公表する等の業務に対する報酬
受 託 会 社 報 酬		当サブファンドにつき年間11,000米ドル	信託証書に従って行う当サブファンドの受託業務に対する報酬
事 務 管 理 報 酬	当ファンドの事務管理及び振替代行報酬	当サブファンドにつき年間5,400米ドル	各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込に係る契約及び申込の受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価
	年次財務諸表の作成	当ファンドにつき年間1,500米ドル	関連する規制に則した年次財務諸表（監査済み）の作成及びその補助の対価
販 売 会 社 報 酬		当サブファンドにつき純資産価額の年率0.6%	販売の手配を行うことへの対価
そ の 他 の 費 用 （ 当 期 ）		0.45%	監査費用、その他信託事務の処理に要する諸費用

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を当サブファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) 各項目の費用は、サブファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

■ 最近5年間の1口当たり純資産価額等の推移について (2020年12月31日～2025年12月31日)

円・クラス



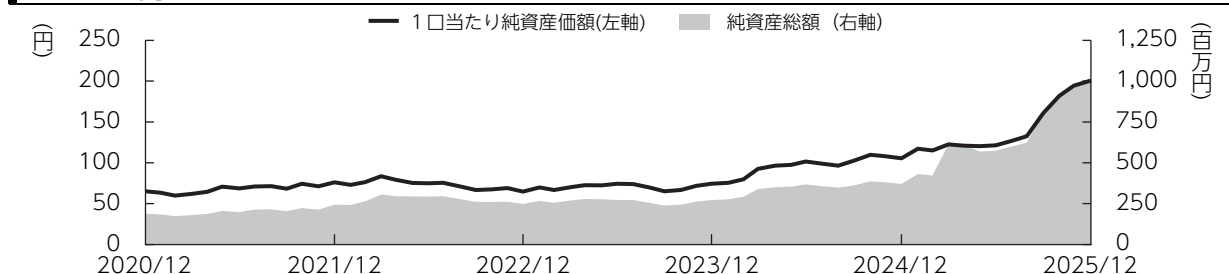
	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日	第17期末 2025年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	43.03	47.51	36.18	34.27	33.14	48.54
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+3.29	+10.41	△23.85	△5.28	△3.30	+46.47
純資産総額(百万円)	67	188	154	65	57	55

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

ゴールド円・クラス



	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日	第17期末 2025年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	65.21	76.18	64.79	74.37	105.43	200.80
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+10.51	+16.82	△14.95	+14.78	+41.76	+90.46
純資産総額(百万円)	189	244	248	272	371	1,000

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

■ 投資環境について

2025年の世界の金融市場は、ボラティリティの上昇に特徴づけられました。通商政策の変化、金融政策に関する不確実性、地政学的緊張が、投資家心理の急速な変動を引き起こしました。ドナルド・トランプ氏の大統領復帰が全体の基調を形成し、財政拡張や保護主義政策への期待が各資産クラスの動向に大きな影響を与えました。米国株式市場は、テクノロジー及び小型株セクターの上昇に支えられ、相対的な強さを示しました。一方、欧州市場は、低成長やフランス及びドイツの政治的不安定性を背景に出遅れました。債券市場は、中央銀行がインフレリスクと景気減速の間で難しい判断を迫られたことから、変動の大きい展開となりました。特に日本では、日本銀行が前年7月以来初めて政策金利を引き上げ、当初0.5%、その後0.75%と、過去30年間で最高水準に達した点が注目されました。コモディティ市場も大きく変動しました。原油価格は1月に一時1バレル75米ドルを上回りましたが、年末には約57米ドルで終了しました。一方で金は安全資産需要の高まりを受け、繰り返し過去最高値を更新しました。為替市場では、経済の分化が反映され、米ドルは年初に強含みましたが、その後は下落しました。デジタル資産も、規制動向やリスク選好の変化により大きく変動しました。

■ ポートフォリオについて

< 当サブファンド >

当サブファンドは、マスターファンドへの投資によって当該マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。結果、マスターファンドへの投資比率は、概ね95%以上を維持しました。

< マスターファンド >

マスターファンドは、世界株式、世界債券、コモディティ、為替、キャッシュの主要な投資資産に分散投資するバランスファンドです。マーケット環境により各セクターへの投資比率を機動的にリバランスします。基本となるロングオンリー・ポートフォリオに、キャッシュ比率の引上げやクライシス・アルファの組入れにより、機動的に弱気相場や金融危機時にリスクオフをはかり、グローバルな全天候型戦略を構築いたします。

2020年よりスタートした本戦略は、2025年に過去最大の運用実績を実現しました。テクノロジー及び小型株セクターの上昇に支えられ、相対的な強さを示した米国株式市場や、地政学リスク、供給制約、需要構造の変化によりボラティリティの上昇したコモディティ市場では、機動的かつ効率的な組入れにより高い寄与度を示し、一方で高いボラティリティを示しながらインフレ等により引き締め観測も強かった債券市場においては、組入れ比率の引下げ調整によりその影響を低減しました。また金価格に連動するゴールドクラスにおいては、90%を超える高い運用実績を実現しました。

■ ベンチマークとの差異について

当サブファンドにはベンチマーク及び参考指数はありません。

■ 分配金について

当サブファンドには分配金はありません。

今後の運用方針

今後の運用方針については、これまでの投資方針が引き続き採用され、マスターファンドと同一の投資目的を追求する予定です。

お知らせ

2026年4月17日付で、当ファンドの受託会社の社名がハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッドから、アセンティウム（ケイマン）リミテッドに変更されました。

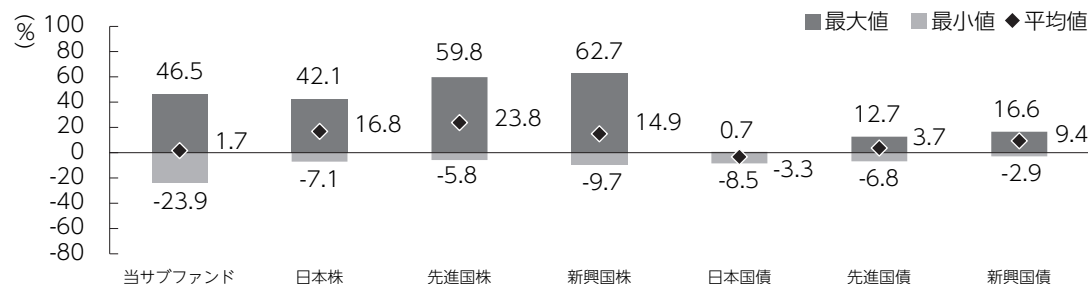
当サブファンドの概要

ファンド形態	ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て）	
信託期間	信託設定日は2009年6月5日、償還日は設定日から150年後	
運用方針	マスターファンドの投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルに基づいて運用されます。当サブファンドのマスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものはなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。マスターファンドの投資顧問会社は、マスターファンドが上場先物及び店頭デリバティブ（外国為替取引を含みます。）の取引においてレバレッジを用いることにより高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することができます。	
主要投資対象	当サブファンド	スーパーファンドSPCのサブファンドである分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズの利益参加シェア
	マスターファンド	株価指数、債券、商品（貴金属等）、通貨、現預金へのバランス投資、これに加えて、ゴールドクラスは金先物
分配方針	現段階では分配を行う予定はありません。但し、管理会社はその裁量で分配を決定する権利を留保しています。	

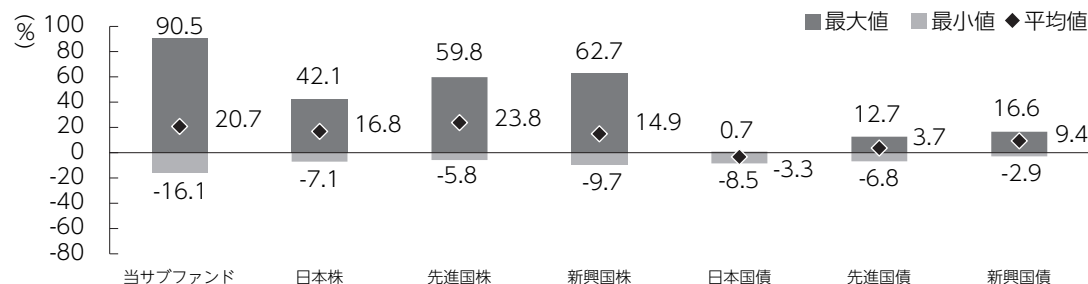
(参考情報)

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

円・クラス



ゴールド円・クラス



※ すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ 2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株 …… 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 …… MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株 …… MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債 …… FTSE日本国債インデックス (円ベース)

先進国債 …… FTSE世界先進国債インデックス (円ベース)

新興国債 …… FTSE新興国市場国債インデックス (円ベース)

ファンドデータ

■ 当サブファンドの組入資産の内容（2025年12月31日現在）

【組入ファンド】（組入銘柄数：1 銘柄）

資 産 の 種 類	組 入 比 率
スーパーファンドSPCの株式（分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ・クラスB ジャパンの利益参加シェア） （以下「SPCレインボー・オールシーズンズの株式」と表記）	99.12%
現金、受取債権及びその他の資産	0.88%

（注）組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。



（注 1）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。
（注 2）組入資産の内容は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

■ 純資産等（2025年12月31日現在）

項 目	第17期末
純 資 産 総 額	1,055,437,296円
発 行 済 口 数	6,123,228口
1 口当たり純資産価額	172.37円

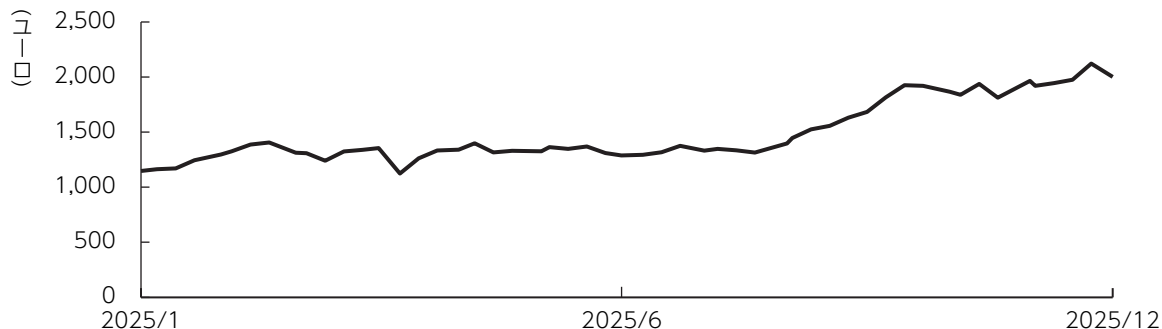
（注 1）純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。
（注 2）当期中における追加設定元本額は309,710,000円、一部解約元本額は161,039,037円です。

■ 投資先ファンドの概要 (2025年1月1日～2025年12月31日)

■ スーパーファンドSPC (マスターファンド)

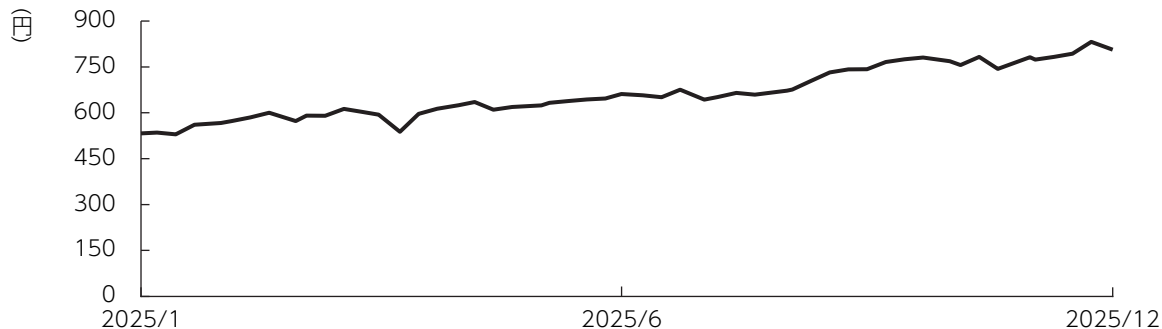
スーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ クラスBジャパン (ゴールド・ユーロ)

【1口当たり純資産価額の推移】



スーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズ クラスBジャパン (円)

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】 (2025年1月1日～2025年12月31日)

項 目	項 目 の 概 要	
管 理 報 酬	クラスBジャパン (円) 利益参加シェア及びクラスBジャパン (ゴールド・ユーロ) 利益参加シェアの各純資産価額の年率1.0%	
成 功 報 酬	クラスBジャパン (円) 利益参加シェア及びクラスBジャパン (ゴールド・ユーロ) 利益参加シェアの各純資産価額の増加額のうち毎月20% (金価格の上昇のみに起因する価額増加を排除したハイウォーターマーク方式を適用)	
販 売 会 社 報 酬	分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズにおいては課されない	
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬	分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズにつき年間18,000米ドル
	年次財務諸表の作成	スーパーファンドSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	監査報酬、保管費用、その他信託事務の処理に関する諸費用 0.84%	

(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2025年12月31日現在)